

令和3年度第2回 安芸太田町総合教育会議 会議録

招集年月日	令和3年8月25日(水)	
招集場所	川・森・文化・交流センター3階 大会議室	
開閉会日時	開 会	令和3年8月25日(水) 午前11時00分
	閉 会	令和3年8月25日(水) 午前11時50分
出席・欠席委員	出席委員	橋本博明 二見吉康・清胤祐子・池野博文・河本千絵
	欠席委員	川野法順
職務により会議 に出席した者	<p>教育委員会事務局員 教育次長 園田 哲也 教育課長 瀬川 善博 同課 主幹 免田久美子 同課 主幹 林 健太郎 同課 主幹 山本 康美 同課課長補佐 江川 一康</p> <p>庶務 総務課長 長尾 航治</p>	
協議事項	<p>協議 1 学校適正配置について</p>	

議 事 録

(午前 11 時 00 分 開会)

開会宣言

橋本町長あいさつ

二見教育長あいさつ

○総務課長

それでは、早速、協議事項に入らせていただきます。

本日は、安芸太田町総合教育会議設置及び運営規則、第6条第1項の3号に基づきまして、学校適正配置についての協議の内容とさせていただきますので宜しくお願いします。以降は、教育委員会事務局の方へ進行を含めてお願いします。

○園田教育次長

それでは、学校適正配置について、教育委員会事務局で進行等説明をさせていただきます。

学校適正配置の今年に入っての取り組みとして、4月の19日にこの総合教育会議において、学校適正配置問題について取り組む旨、町長の方から表明され、教育委員各位もその中で教育委員会として、主体的な事務として進めていくというところを確認をさせていただいたところでございます。その後、適正配置の中で、どういう風なところで取り組むかというところを、教育委員会内部でも検討させていただいているところでございます。方針案に基づきまして、まずは移転統合の対象となる上殿小学校地域にご理解をいただくというところが一番大きなところ課題であろうということも含めまして、地域協議というものをやっていこうというふうに、準備を進めて参ったところでございますが、5月になってコロナの緊急事態宣言というところが出まして、実際のところが5月の会議を断念したところです。

6月には、議会に学校適正配置のこれまでのところを進めていきたいと全員協議会で説明をさせていただいてところでございます。

それを受けまして、7月の19日には、教育委員会において、適正配置の基本計画の一部の変更について協議をさせてもらっているところでございます。

続きまして、保護者の説明会でございます。いま、話をさせていただいたとおり、まずは上殿地域の小学校の保護者の方に説明をさせていただいてところでございます。計3回の説明をさせていただいています。

第1回は、コロナの緊急事態宣言が明けたすぐの6月22日、第2回は、7月28日、第3回は8月11日に開催をさせていただいております。

第2回以降につきましては、小学校の保護者の方からの思いもある中で、これから小学校に入る就学前の保護者も含めて、説明会を開いていただきたいということで、就学前の保護者への説明含めての説明をさせていただいているところでございます。なお、第2回目以降の会議につきましては、町長また教育委員さんにも出席をしていただいて、色々保護者の思いを聞かせていただくなかで、対応を検討、色々課題の説明もさせていただいているところでございます。

その内容につきまして、資料をご覧くださいと思います。まずは上殿小学校統合に関する保護者説明会の要旨というところでございます。

第1回におきましては、これまでの学校統合に関する経緯を説明をさせていただいております。平成25年当時の基本計画において説明をさせていただき、今後の町の方針としては、教育環境を整えるためにも、早急にこの計画を進めないといけないというところの説明を、実際には25年から計画をしているというところでございますが、特に上殿小学校については、移転の対象校となりますので、早く皆様のご理解を得るための取り組みをしないといけないというところでございます。その中で校舎の耐震の調査の方の結果についても説明をさせていただき、校舎については倒壊の危険性は低いですが、体育館については倒壊の危険性があるとの判定結果が出たというところも併せて説明をさせていただいております。

意見交換の概要といたしましては、計画策定後の時間が経過しているので、新たな計画が必要なのではないか、皆さんの意見も聞かせていただいて経過を修正したいということも、話をさせてもらっております。また、定住等の取り組みの中で町の定住に対するビジョンというものと、学校との適正配置との関連性というところも、ご質問をいただいているところでございますが、保護者の中の意見にありました、統合先はどこになるのか、また、いつまでに統合すれば良いのか。というところのご質問があったところでございます。

教育委員会としては、統合先については、皆さんの思いも含めながら、考えていきたい。統合時期についてはこういった話を出したのは、基本的には年度内での完了というところ、新年度からは新たな学校でというような対応を考えているというところを説明させていただいたわけですが、基本的には計画案の修正も含めて教育委員会議で諮って、それをまた皆さんにお示しをさせていただくということで第2回が終わっているところでございます。

教育委員会の会議で、7月に開きました教育委員会会議におきまして、6ページ以降にあります、学校適正配置基本計画の一部変更修正について、ご審議いただき、計画の修正を基本方針の修正を行わせていただいているところでございます。

教育委員さんご出席の中でご審議をいただきまして、基本計画の修正をさせていただいているところでございます。主なものといたしましては、小学校については上殿小学校と戸河内小学校を統合して、現戸河内小学校を学校区とする。という案、もう一つは統合時期については、令和4年の4月を目途に進めていくという二つのところを大きく修正させていただきまして、この計画の修正案を修正したところです。

その他中学校の問題等につきましても、ここの中で上げさせてもらう中で、今後の対応について修正をさせていただいているところでございます。それを受けまして、第2回の上殿小学校への就学前の児童の保護者の合同の説明会を行わせていただいております。基本方針の修正案を説明をさせていただき、ご意見を伺ったところでございます。

基本的には、計画の内容という詳細についてのところも、ご質問もあったところでございますけども、急に出た計画なので、考える時間がほしいこと、統合先について色々悩んでいるので、という話も伺いました。本日来ていない保護者の意見と、会議の中で意見表明させていない保護者の意見も、聞きたいという保護者の思いもありましたので、この件について持ち帰って検討させていただくということで第2回を終わらせていただいたところです。

その後、保護者の意見を各自教育委員会事務局内部で、個別に聞かせていただきましてその中で、4、5ページに保護者の意見を聞かせていただいた内容を入れさせていただいているところでございますが、基本的には、8割から9割の方が統合、教育委員会の案に賛成だと、ただ色んな悩みもあるよと。いうところございました。

基本的にはその中の6割から7割についても、積極的賛成、すぐにでも戸河内小学校への統合の準備を進めてほしいという意見を受けたところでございます。その意見を受けまして、第3回目に保護者の方に上殿小学校就学前の合同の説明会を再度、開かさせていただきまして、この辺についても町長、教育委員さんも含めて出席をいただきまして、説明をさせていただいたところでございます。

基本的には、意見交換の次は今後の体制について色んな話をさせていただいたわけですけども、最終的には統合について賛同いただいて、反対の意見はあるというところは、一部ありますが、概ね8割を超える賛同いただいているということもありますので、基本的にはこの教育委員会の方針案のように、進めていきたいということで、次の段階に進めさせていただきたいというところを確認させていただいて、第3回の会議を終えたというところでございます。

今後の取り組みにつきましては、コロナ禍でありますので、どういう取り組みができるかということ、早急に教育委員会内部で検討しないといけないわけですが、当初予定をしていた今週、27日に、地元説明会を計画していたわけですが、コロナの緊急事態宣言が発令されるということも含めまして、その地元説明会は延期をさせていただくということを考えているところでございますが、この中で保護者の求めている、一刻も早い統合に向けて本日ご意見をいただいて、進めていきたいというふうに思っているところでございます。説明は、以上でございます。

○橋本町長

改めて事務局の方にも、ご尽力いただき、進めていただいたところでございますが、取り組みも含めてご意見があれば、或いは会にご参加いただいた委員さんもおられますので、改めてご意見をいただければと思うのですが、私としまして、改

めて冒頭のご挨拶でも触れましたように、本件、大変長い間中々そうは言いながらも、理解を得られないところがある中で、進めて来られなかったということは、私なりにお伺いしたところでもあります。ただ、最終的には、地元の皆さんの色んな思いはありながらも、やはり、学校というのはあくまでも子どもさんの教育のためにあると、その観点でいうと、子供さんの教育環境を出来るだけ、充実させなければならないということを考えた時に、現状というのはやはりあまり良い状況ではない。特にこれは適正配置の基本方針の大本だったと思いますが、複式が出来るだけ解消した方がよいことですか、特に私が改めて思ったのは、同級生はかなり少ないクラスもあるということ。このことは出来れば、もちろんそれがあるからといって、ただちに学校を必ずしも統合しなければならないということは無いのでしょうか、教育環境をできるだけ良くするという立場からすれば避けた方が良いでしょう。そういう状況の中で統合を進めるべきはないかと思い、取り組みさせていただきました。

最終的には、教育委員の事務局の方もご尽力もあって、親御さん方も多くの皆さんはそう思っておられると、改めて確認をさせていただいたものですから、そういうことであれば、我々の思いと親御さんの思いも一致するというので、前に進むべきだということを私なりに改めて確認させていただいております。皆さんの方からご意見いただければと思います。

○園田教育次長

教育委員さん、各委員のご意見をいただいて、各事項の確認をさせていただきたいと思います。

○清胤教育委員

今、町長さんが仰ってくださったことに同意しております。ただ、最初教育委員会が、統合案を提示しましたときに、安芸太田町として合併して新しく出来た町なんですけど、旧町村の枠を外して最適な人数配分や、教育環境をと考えまして、最初提示したものが、やはり地元の方々の故郷を思う気持ちというものが、伝わって参りまして、中々旧町村の枠は外せるものではないんだなというのが心情として伝わって参りました。

第一に、子ども達の教育環境を整えるということが、何より大事です。殿賀小学校は、当初筒賀小と統合予定でしたが、加計小学校へということで、旧加計小へということですね。今回も上殿のお子さん達が出来れば戸河内小学校でお勉強していただくのが、旧戸河内に1校残すということに直接つながっていくことではないかなと、それが子ども達の教育最優先ともに地域の方々への思いに少しでも応えたいと思う変更理由でありました。今、町長から同級生の人数の話が出ましたが、人間の成長で順調に行くっていうのは、色んな事があると思うんです。子ども達が大きくなっていく、大人になっていく過程で、その時に親でもどうしようもない事がやっぱり、友達が支えてくれるということが多々あって、気の合う同級生がいるっていうことは、幼馴染が支えてくれるということが大事なんじゃないかということ

我が子を育てながらも思いましたので、そういう点で、同級生がいないとか、本当に少なくて小さいころからずっと、がんじがらめになった人間関係これは、良いときには良いんですけど、何かあったときには、そこから逃れられないというのは、子ども達にとって大変な精神的負担になるのではないかなと色々考えまして、統合をお勧めしているしだいなんです。どうか、地域の方々には子ども達の教育環境最優先ということで、同意していただければ大変ありがたいと思います。宜しくお願いいたします。

○河本教育委員

今、清胤委員さんが仰ったように、子ども達の様子、年齢があがっていくのをずっと見守る中で、子どもって思っている以上に気を使いあっているなというのと、固まってしまった人間関係の中で過ごすということを頑張らざるを得ないというか、そういう面もあって、それが思いやりという良い面ももちろんあるんですけど、しんどくなった時にどうしようもないということもあって、なるべく多くの人数で色々な意見を聞ける、色々な意見を言えるという経験というのが、すごく貴重なんだなというのを思います。

○池野教育委員

私の子ども時代を振り返って思うのですが、特に過疎地域にあっては小学校、中学校、同じ仲間でも過ごしました。いい点もありますが固定的な人間関係の中でやっぱり色々な友達から受ける刺激とか個性のぶつかり合いとかという意味ではできるだけ多くの子ども達の中でもまれていくことが、望ましいかと思います。また、説明会に出てご心配いただいたことは、マイクロバス、特に広範囲の子ども達の通学にはマイクロバス不可欠ですが、行政の方もバックアップ等を改めてお願いしたいと思います。

○二見教育長

学校の統合適正配置、もう一つは学校がなくなった時に地域が寂しくなるということ、或いはその地域の取り組みが多くの子どもの保護者や人が集まって、結果として子どもが増えるという、これまでずっとご指摘いただいたんですけども我々教育委員会として何が出来るかといえば、魅力ある学校教育づくりということが一番の役割だと思っているんですね。そういう点で、先ほど挨拶で申しましたけども、これからの未来を切り開いていく力としては、いわゆるお互いの多様な意見をしっかりと受け止めあいながら、自分の考えを述べ合っていく、そういうことが日本社会を開いていく、次の時代の役割をつくっていく。そういうことだと思うんです。そういう意味でこれまで約10年を超えてやって来たことは、今国が求めている主体的で多様的で深い学びに沿うといえますか、それを、私は国の考えを突き動かしたものと思っていますけども、11年間の取り組みがやっと国レベルでも、評価されつつあるという点は地道にやっていくことで、派手さのない地道な取り組みで本町の教育の良さというものを見ていただくという時代が来たなと思っています。その点でも一定

程度の子ども達のまとまりということが、貴重ですし、今わずかですけれども、年に数回3校の子ども達が集まって、学ぶとかやっておりますが、そういうことが毎日出来るような環境をつくっていく。そういう点ではこれまで幾つかの学校統合進めてまいりまして、皆さんにも大変苦渋の決断をしていただきました。ただその中で新たな加計小学校や新たな戸河内小学校として、統合した学校の子ども達が安心また安全な通学また環境の中で学び、一人一人が育ってきているという点は、評価出来るのではないかと思います。

当然上殿小学校でも、一生懸命同じ取り組みさせていただきましても、残念ながらハード面での環境の整備準備が十分でなかった、申し訳なかったことあるんですけども、それらを含めしっかりと活用できるまた、安心安全な各教育環境という点で、実現していきたいという点では、あまり時間の余裕がないのではないかと思います。町長も力強い号令いただきまして、私達のこれまでの取り組みをより一層進めていきたいという思いでございます。

○橋本町長

改めて先般の説明会に委員の皆さんにご参加いただいたのは大変良かったなと思っております。親御さんの率直な思いもある程度聞いていただいたし、だからこそ、これまで中々進まなかった色々な問題についても、ある意味ご認識いただいたんじゃないかなと思います。

この前の説明会でも、我々教育委員会の事務局も含めて子どもさんの状況を一番に考えてという話もしながら、地域の皆さん、特に統合の反対の方について、地域の活性化ということはどうしても話をされて、その点で中々議論が進まないところがあったなと思っております。その意味で学校の本当の適正な規模というのは私自身も、ある意味その地域、地域で違うんじゃないかなと、一律この数字でというのは本来決められない、逆に言うとそれをまさに地域で色々話をさせていただいて地域にとっての本当の適正な規模というのを、議論するなり、考えるなりというのが必要というか、そういう基準の採用というのは地域、或いは地元に委ねられているんじゃないかなと思うんですよね。

一つは、そういう地域の活性化と子どもさんの環境というのがあって、教育委員さんの立場からすればまさに学校というのは、子どもさんの教育のためにあって、それが優先されるべきだということで、統合案をおまとめいただいたと私は理解しているつもりです。

私は子ども達の環境も考えないといけないし、地域の活性化の事も考えないといけない立場なんです。その私の立場を持ってしても、やはり今のこの上殿の小学校の状況というのはやっぱり、かなり極端なのではないかなというふうに感じています。だから今の同級生の数であったりだとか、そういう状況でもなお、子どもさん方をこの学校で学ばせても良いというのは、保護者の皆さんの理解がないと出来ることではないと、保護者の皆さんの理解がないと地域活性化のためにある意味我慢してくれというか、この学校にいてくれ、或いは居ても良いよというのはやっぱり保護者の皆さんのご理解を得ないとできない話だと改めて思いましたし、だから

こそ、冒頭話したように、保護者の皆さんはそうは言いながらも、やっぱり子どもさんの環境をある意味大事にしてほしいということが、ご意見だったのかなというふうに思っておりますので、その意味で、改めてこれはやっぱり前に進めていかなくてはならないなと思っております。

それもできれば、当初の考えているとおり、何とか今年度、解決をさせていただいて前に進めてということが一つです。

その上で、個別な話に入りますと、この前に保護者説明会の中でそうは言いながらも、今後の本町における学校の体制ですよね、これはいったいどうなるのかと、コロコロ変わられても困るし、或いは統合しても、またその先何年かすると統合してしまうのでは解決にならないではないかと不安に感じておられる保護者の方もおられました。この点今の適正配置計画が8年たって果たして適切なのかというようなご指摘もありました。

ここでもう少し確認の意味で、私自身の思いを述べさせていただきますと、今の適正配置計画というと中学校2校、小学校3校という体制になると思うんですが、これも最初話をしたように学校の適正規模というのは改めて地域に委ねられている部分があり、主体的な学び、意見交換の中で勉強する意味では人数が多ければ多いほど良いと言う話になりかねないと思うんですが、一方で学校というのは地域とのつながりというのも、重要なことから地域の皆さんに支えて頂く、地域の皆さんのつながりの中で勉強できることもあるものですから、そういう意味で改めてやっぱり、バランスというか地域、地域でその適正配置というのは委ねられているのではないかなということも、改めて感じているところです。

その意味で今本町が置かれている状況の中で、どういう配置が適正なのかというと、それもやはり今もまとめていただいている中学校2校、小学校3校というのはある意味、一番バランスがとれた配置ではないかなと、私も感じているところでございまして、加えて私も町長に就任するときに、これ以上人口が減らないために努力をさせていただきたいということも、訴えさせていただきました。

正直さらに増やしていくというのは中々難しいにしても、本町を本町の形として残すためにもこれ以上減らないための努力というのを、しっかりやっていく必要があると思っておりますし、その意味でも中学校2校、小学校3校の体制は引き続きこれからも維持出来るようにまちづくりの面でもしっかり努力していきたいと思っておりますし、その中で小学校3校、中学校2校の中で複式学級を何とか解消できるような子どもさんを確保ということもこれまたしっかり努力をさせていただきたいなと思っておりますし、この点についても皆さんの方からも意見がございましたら、聞かせていただければと思います。

○園田教育次長

今回の適正配置の小学校3校、中学校2校の体制を早急に、上殿小学校、戸河内小学校の統合については保護者の皆さんの思いというところも含めて、今年度の解決について前を進めるということこの強い思い、また、もう一つは今後の体制について地域の学校と地域のバランスとかも色々な事も考えながら、町の施策として町長

の考えも施策として人口維持の政策のもってる中で中学校2校、小学校3校の体制を維持できるような体制をつくっていきたいというところを述べられたところですけども、教育委員さんの思いがありましたら、ご意見いただければと思います。

○清胤教育委員

小さい子の歌で「一年生になったら友達100人出来るかな」とありますけど、100人ていうのが何か一定の数みたいな気がするんですけど、加計小学校においては概ね達成されていますが、残りの小学校には中々そこまで追いつかないのが現状ですが、町長さん仰ったようにその地域、地域の実情に合わせた人数というものがあろうかと思えます。

昨今、世界的コロナ禍ということで、密になれないということで我が安芸太田町の場合はそれでも、一斉休校しなくてもまた、学年に応じて分散登校しなくても、みんな一斉に行っても密ではないという環境は、これからの世の中には必要なのではないか、求められるものではないかとむしろ思いますので、この小学校3校体制、中学校2校体制、またその町の中でもし何か問題が起きた時、起きるのが人間ではないかと思うんですね。

どんなに頑張っても、その時にがんじがらめにならずに、ちょっと転校できるというような余裕も必要ではないかと思ったりしまして、私は中学校2校、小学校3校に賛成いたします。

○二見教育長

教育の文化圏、或いは文化、経済等交通等含めての転移という時に戸河内と筒賀というのは昔から色んな交流も活発でした。その一つが結果として戸河内中学校と筒賀中学校が一緒になれたのもそれが根底にあったと思うんです。

一方で、加計地域等も地域活動も含めてそういう点ではそれぞれの地域の皆さんの思いというものが学校に対してもありますけども、そこらを何とか我々も汲み取って新たなコミュニティづくりを一緒に考えていかなければいけない。これは学校を中心としたコミュニティづくり、新たな戸河内圏のコミュニティ推進に取り組む必要があると思うのが一つです。

先ほどの教育委員会議の中で議論したんですが、今週末に地域の皆さんへの説明会ということを用意していましたが、残念ながらコロナの関係で延期せざるを得なかった。今広島県も来月12日までは中々動きにくい環境になってくるだろうと。そういう中でこの間一緒に話をさせていただいた保護者の方も含めてその後どうなるんだろうか、そうなっているんだろうかという心配の中で、今日ここまでの状況を保護者や地域の皆さんにも、途中経過を知って頂けるような取り組みもいるんじゃないかと、さっき意見がありました。それもそういう形で示せるか分かりませんが、これから2～3週間、或いは1か月放置するのではなく途中経過がご理解いただけるような方法も考えていかなくてはなとか、或いは具体的にうちの職員の方で一人一人に、お聞きしたご意見についても、もう少し具体的に分かりやすく知って頂くようなことも必要なんじゃないかなと思っております。我々がこれまで6月か

ら取り組んだものを積極的に情報を提供しながらご検討していただくということもいるのかなと今思っているところです。

○園田教育次長

今、教育長の方からまとめという事ではないですが、教育委員会の考え方をまとめていただきました。今、教育委員会の考えにつきまして、意見を受けた中で今後の課題といたしまして、統合については今年度強く進めていくというところがございます。当然コロナのことでこの進めていくというところで中々立ち止まらないでできるところをきっちり、やっていきたいということで事務局の方も教育長の指示の元準備をさせてもらっているところがございます。

町長が述べました、中学校2校、小学校3校体制修正案の中でも、中学校2校、小学校3校体制の維持というところも、修正案の中でも謳わせていただいているところがございますので、基本的には教育委員会、教育環境整える中でこの事を進めていく為に、皆様のご理解を得ながら、ここで確認をさせて教育委員さんを含めて確認をさせていただいたという事をこの教育会議の中で確認をさせていただきたいというふうに思っているところがございます。

○橋本町長

もちろん、適正配置に限らず計画というのは、その都度その都度とにかく見直しをしながら、取り組んでいかななくてはならないことだと思っております。

ただ、そうは言いながらも、やはり長期的な考え、或いは長期的な事業を進めるに至って計画というのは必要なことですし、そうは言いながらも見直しを適宜諮っていかななくてはならないけれども、そうコロコロ計画が変わっても事業を進められないということがございます。そこもバランスだと思いますが、その意味で当面この中学校2校、小学校3校体制をとにかく維持できるように私としてもしっかりと、頑張りたいと思っておりますし、まずその状況の中でより良い教育環境、より良い教育手法を整えて頂くということについては、教育委員の皆さまにも引き続きお力添えをいただきたいと思っております。

もう一つ改めて確認なんですが、この問題について急いでいると言われるかもしれませんが、やはり年度内に解決をするべきだろうと思っておりますし、もろもろ課題がある、或いは理解を得ないといけないということで、やらなきゃいけない事たくさんあると思うんですが、これも本当元に戻りますと、子どもさんが置かれている環境というのを考えると大人の時間の過ぎ方とやっぱり違うと思うんですね。1年生の時間は今しかない。2年生、3年生もそうだと思うんです。これを逃すと今の6年生は申し訳ないけど、5年生にもまた同じ状況を繰り返すことになる。そういう環境というのはやっぱり子ども達の環境を守る責任ある、それも仕事関係なしに大人の姿勢として、やっぱり早めに解消してやるべきではないかなと思っておりますし、それは私だけの勝手な思い込みではないという思いで進めさせていただいてるつもりです。

それもまた、親御さん方の思いであるという事でも取り組ませていただいていることをごさいます、そこも改めて委員のみなさんのご理解をいただきながら進めさせていただければなと思っているところでございます。

別途、地域の活性化という事については、これは役場として改めてしっかりと取り組みをしていかななくてはならないと思っております、特にその点では上殿地区の活性化ということも、もちろん教育委員会の方でもご協力いただけるところはご協力いただければなと思っております、それこそ、役場の方が主体的に考え、地元とも相談しながら進めていかななくてはならないと思っております、直ちにこれはこれがあるという事ではないし、逆にそれは上殿地区に限らず、他の地区の皆さんも一生懸命頑張っておられて、それは学校を統合された他の地域の皆さんも一生懸命頑張っておられる事だと思っておりますので、あわせてその事も一生懸命考えたいということは、付け加えて申しあげたいと思っております。

○園田教育次長

町長のまとめていただいた意見で適正配置についての協議事項を終わらせていただきたいと思っております。

ご協議ありがとうございました。

○総務課長

本日の協議の案件に関しましては、議事録の作成の関係もございしますので、今一度確認をさせていただければと思っております。

本日は、保護者説明会等の情報共有も出され、安芸太田町学校適正配置基本方針の一部変更（修正）についてその中にあります、第3次学校適正配置推進計画の一部変更（修正）についてということが確認されたということによろしいでしょうか。

それと今一つご確認をさせていただきたいのですが、町としては、今後規則によりまして、議事録を作成していくこととなります。第9条の第3号にですね、協議調整行われた事項及び内容ならびに審議結果これを議事録として作成することとなっております。

通常であれば、議事録を文字で起こしてそれを公表していくんですけど、若干ちょっと内容としてやはり基本方針が適正配置計画というものが、目に見えないと一般の方に分かりづらいと思っておりますので、本日の資料は議事録とともに公開してもよろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは、庶務の方で議事録とあわせ本日の資料を公開させていただきます。

それでは、閉会にあたりまして会長であります、町長の方から今一度ご挨拶の方をお願いいたします。

○橋本町長

お時間いただきまして、ありがとうございました。改めて今日の学校適正配置について私も思いを述べさせていただき、また委員の皆さんからもご意見をいただきました。

学校が地域から無くなるというのは本当に寂しい事でもありますし、地域の在り方そのものも大きく変えることで、簡単なことではないと改めて思っております。

私も正直進めたいわけではないですが、ご要望を考えて最終的には、やはり子どもさんが置かれている状況を考えた時にやはりこれは早急に、解決すべきではないかという思いを新たにさせていただき、これから取り組みを進めたいと思っております。ただやはり、地域の皆さんのご理解が大きいと思っております。

その意味では今回コロナの事もあるわけですが、皆さんが集まりにくい環境の中で地域説明会みたいなものを開くべきではないという事もありまして、焦る思いはあるんですが地域の説明会は、延期にさせていただいた経緯がございました。

我々としても一生懸命地域のご理解が得られるように、努力をさせていただきたいと思っておりますので、皆さま方にも引き続きお力添えをいただければと思っております。また、重ねて子ども達の教育環境の充実に向けてご尽力いただきますようお願いをさせていただいて、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○総務課長

令和3年度第2回安芸太田町総合教育会議を終了します。

ありがとうございました。